

## 皆既月食(地学散歩(39))

著者	松本 仁美
雑誌名	静岡地学
巻	59
ページ	i-iii
発行年	1989-06-18
出版者	静岡県地学会
URL	<a href="http://doi.org/10.14945/00025435">http://doi.org/10.14945/00025435</a>

# 皆既月食

松本仁美\*

本年2月20から21日にかけて、2年4か月ぶりに皆既月食が見られた。当日の天気予報は雨で、静岡市内も午後8時頃まで小雨がぱらつき、あいにくの天候であったが、幸いにも、月食の始まる20分程前から雲が切れ、月食の前半は快晴の状態で見ることができた。当日、児童会館の天文台には、静岡県地学会の中部支部の有志数名と静岡市の小学校の先生方が見え、眼視、写真撮影等で月食を楽しんだ。

今回の月食は、食分が1.28。欠け始めは、22時43分、皆既食の始まりは、23時55分からであった。皆既は1時間20分続き、1時15分には皆既が終わることになっていたが、0時30分過ぎから一面に雲が広がり観測は不能となった。しかし、月食の前半は雲もなく、しかも夜半の月食であったため月の高度が高く、写真撮影には最良の条件であった。

月食は、地球の影の中に月が入るために起こる現象であるが、地球の大気の影響で真っ暗にはならず赤銅色に輝く。その色合いは、その時々の大気の状態で微妙に変化するので、天文愛好家の興味の対象になっている。今回の月食は通常のものに比べて大変明るく、夜空に赤銅色～オレンジ色に輝く月は、何とも幻想的な眺めであった。

写真は半影に入ったときから皆既食になるまでの月を、時間を追って児童会館天文台の20cm屈折赤道儀で撮影したものである。

## 撮影データ

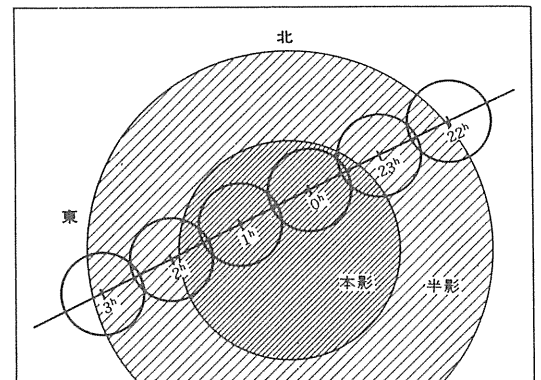
望遠鏡：ニコン 20 cm 屈折赤道儀

f = 2400 mm、F 12. 直焦点

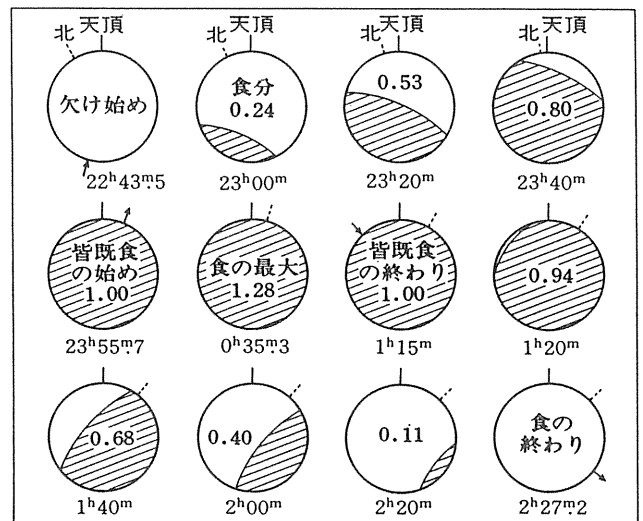
カメラ：ニコン FM 2

フィルム：フジカラーHR 400

各写真右下に撮影時刻とシャッタースピードを示す。



2月20～21日の月食の状況 (天文年鑑1989より)



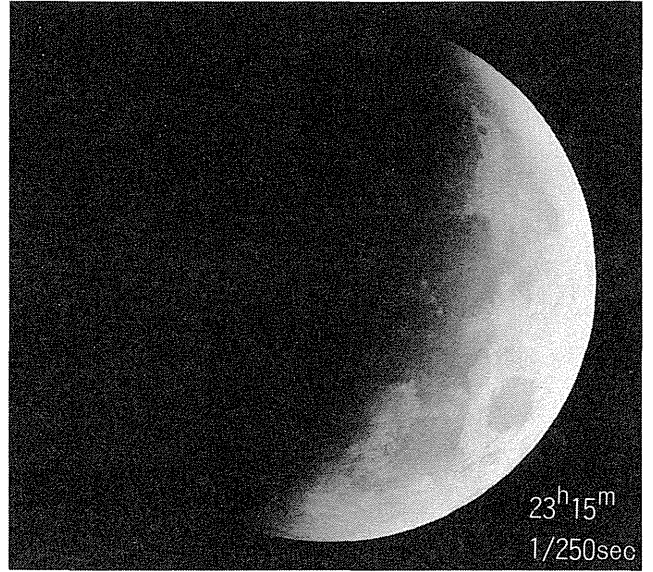
2月20～21日の月食 (天文年鑑1989より)

\*静岡市立児童会館



皆既月食 (1989.2.21)

(ii)



欠けはじめから皆既月食まで(1989.2.20)